

学校教育目標 森中学校は、自らの将来に向け夢の実現と、自らの可能性を追求し、お互いの違いを認め、変化する社会を生きぬく人をつくります。 1. 自ら学び、自分らしさを発揮できる人 2. 命と体を大切にし、人を思いやる気持ちと感謝の心を持ち奉仕できる人 3. 地域との交流を深め、視野を広げられる人 <具体的目標> 【知】興味関心をひろげ、目標に向かって学び続ける姿勢を育てます。 【徳】人を大切にする心、お互いを思いやる心を育てます。 【体】命を大切に、心身ともに健やかに生活できる力を育てます。 【公】社会の中で自らができることを考え、協調性を持って実行して力を育てます。 【関】広い視野を持ち、国際感覚豊かな生徒を育てます。	創立 39 周年	学校長 大谷 英輔	副校長 久保 友子	2 学期制	一般学級：12 個別支援学級：3
	児童生徒数： 438 人 主な関係校： 屏風浦小学校・森東小学校・汐見台小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	森中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分の幸せを実感できる自己肯定感をもつ子> <コミュニケーション力を持ち、周りと協調できる子>	森中学校 屏風浦小学校 森東小学校 汐見台小学校	豊かな心の育成～自他の心を大切に、主体的に考え行動する森・汐見台の子どもたち～ ・自らの可能性を追求し、主体的に考え行動をする子ども ・互いの心を大切に、学び合い、高め合う子ども 「主体的・対話的で深い学び～思考を活性化する学習形態の工夫～」 「道徳の時間を要として豊かな心の育成」

中期取組目標	○これからの社会で活躍できる力を育むとともに、学校・地域・家庭を大切にする子どもたちを育てます。 ・新しい学習指導要領に基づく、育むべき資質・能力を意識した教育課程を編成します。 ・子ども一人ひとりが安心・安全に過ごせ、自己肯定感が高められるように、学校生活を支援します。 ・コミュニケーション力が伸ばせる授業・学校行事を行い、子どもの協調性を高めます。 ・地域行事や地域ボランティアに生徒・教職員が積極的に参加し、地域や家庭とのかわわりを大切にしていきます。 ・多様な価値観を認め、働きやすさを向上させるとともに業務の効率化(働き方改革)をすすめていきます。
---------------	---

重点取組分野		具体的取組
知	確かな学力	・教科会協議、校内研修、授業研究等を行い、生徒のコミュニケーション力・自己肯定感を高められるよう教員の指導技術の向上を図る。 ・家庭学習のあり方を含め教材や課題の検討を行い、生徒が自ら学習に取り組むようにする。 ・テスト結果や学習評価、市や全国の学力状況調査結果、生徒の振り返り等から分析を行い、学力向上を図る。
担当	学力向上委員会	
徳	豊かな心	・道徳において、魅力的で、効果的な教材を通して、自己および人間としての生き方について学び合える場を作る。 ・人権週間等での取組を通して自分の周囲の問題に目を向け発信できる力を育てる。 ・地域社会の様々な方々との関わりの中で、地域社会の一員であることを実感させ、思いやりや自己肯定感を育てる。
担当	豊かな心の育成委員会	
体	健やかな体	・新体力テストの結果の分析を行い、生徒の体力の現状を把握し、向上させるべき体力の項目を明確にする。 ・昼休みのボールの貸し出し、体育祭(大縄跳びの推進)の活動への積極的な取組、ガイドラインに即した運動部活動の推進等を通じて、生徒の体力を向上させ、運動に親しむ態度を育てる。
担当	体力向上委員会	
公 開	地域連携	・地域行事や地域ボランティアに生徒・教職員が積極的に参加して、地域との協働を進め、地域から評価されることで自己肯定感の育成を目指す。 ・学校便りの発行、HPの更新を行い、学校の取組や生徒の様子を積極的に家庭や地域の方々に伝える。
担当	渉外部	
いじめへの対応		・「子どもの社会的スキル横浜プログラム」などのグループワークトレーニングを活用して、生徒同士の関わり方や協調性を育む。 ・生徒からの各種アンケート回答や相談活動等から、生徒一人ひとりの状況を見取り、校長をリーダーに、担任や各学年教諭、生徒指導専任教諭からの防止指導、対応、支援を進める。
担当	生徒指導部	
人材育成・ 組織運営(働き方)		・校内研修会を計画し、職員の資質能力の育成、ミドルリーダーの学校運営への参画を図る。 ・快活な職場環境整備や効率的な組織運営を心がけることで、職員同士の積極的な関わりを図り、互いの資質能力の向上につなげる。 ・ICT機器の活用や地域人材(職員室アシスタント、支援員、ボランティア等)の活用を進め、業務の効率化を進める。
担当	学年連絡会	
生徒指導		・教育相談や三者面談などを通して、生徒一人ひとりの課題を把握し、生徒理解に努める。 ・学年連絡会や生徒理解研修等を通して、生徒の情報交換を密に行い、チームで状況に応じた指導の方針を立てる。 ・自己肯定感を高める関わり方を研究し、生徒理解に基づいた指導を行う。 ・不登校生徒への理解を深め、個に応じた指導・支援を行う。
担当	生徒指導部	
特別支援教育		・授業のユニバーサル化の研究・実践を進め、学ぶ場づくり、わかる授業づくりを目指していく。 ・支援員を含め特別支援委員会を開き、生徒理解のための情報交換を行う。 ・特別支援教室を新たに設置し、特別支援を要する生徒のニーズに応じた指導の展開を目指す。
担当	特別支援教育委員会	
安全教育		・職員研修、避難訓練等を実施し、災害・事故・事件に適切な対応がとれるようにする。 ・月1回職員による安全点検、業者による施設点検などを行い、把握した不良箇所迅速に対応する。 ・AED講習会及び食育講座、性教育講座等を実施し、健康安全教育を行う。
担当	保健美化部	
担当		